

● 価値創造ストーリー

資本コストの低減

サステナビリティ経営の推進

環境・社会・ガバナンスのESG対応の強化により、事業活動を取り巻くリスクに対処するとともに、ビジネス機会として取り組んでいます。特に気候変動を含む環境対応と人的資本強化に注力し、コーポレート・ガバナンス体制の整備やセキュリティを含むリスクマネジメントの徹底による経営基盤の強化を進めています。さらに株主・投資家との対話や開示内容を充実させ、資本市場からの長期的信頼を得ることで資本コストの低減を図ってまいります。

重要課題テーマ

-  脱炭素社会と循環型経済実現に向けた環境への寄与
-  環境や社会に寄与するイノベーションの推進
-  パートナーシップの促進
-  強靱な経営基盤の整備
-  多様な人財の活躍
-  地域・コミュニティの発展



E 環境

スカパーJSATグループは30年以上にわたり、宇宙で作られるクリーンなエネルギー・太陽光発電を使用した人工衛星で事業を展開しています。衛星通信システムで消費する電力は地上回線に比べて約3分の1*とも言われています。*当社調べ

環境への対応は、衛星通信・衛星画像・ビジネスインテリジェンス分野のサービスを展開するにあたり大きなビジネスチャンスと捉えており、既存事業の拡大と新規事業の開拓の両面から取り組んでいます。

- 2023年4月に環境基本方針・グリーン調達方針を策定し公開しました。
- カーボンニュートラル実現に向けた移行計画を策定し開示しています。
- 気候変動に対するリスクと機会を見直し、対応策を含め情報開示しています。
- 衛星管制・放送センターを含むグループの拠点での実質再生可能エネルギー比率は93%に到達しました。環境に配慮したサービス提供によりお客さまのCO₂排出削減にも貢献いたします。



S 社会

企業として、国内外のパートナーから選ばれる魅力的な組織になることを目指しています。活発なコラボレーションから価値創出を実現するためにも「人財」はなくてはならない重要な資産であると考えています。当社グループは全ての従業員が安心安全に働ける環境と制度を整え、一人ひとりの成長と活躍をサポートしています。

- 2023年4月に人財戦略を策定し、人と組織の変革に取り組んでいます。従来の女性管理職比率に加え、労働生産性、エンゲージメント指標を長期的KPIに設定しました。
- 「人権の尊重」の重要性を認識し、「人権対応に関する方針の策定」を2023年度の目標・KPIとして設定しました。

当社は、透明性が高く、事業環境の変化に迅速に対応できるコーポレート・ガバナンスの実践を目指しています。また、宇宙とメディアという公共性の高いサービスを提供する企業グループとして、コンプライアンスに基づいた企業倫理の徹底はもちろん、リスク管理体制の強化に取り組んでいます。

- 2030年に向けて実現したい姿と今後5年間の投資計画を2022年4月に公表しました。
- 宇宙事業の契約バックログや衛星フリートの詳細等を新たに四半期決算で説明しています。
- 取締役会では経営監督のほか、役員構成・運用、株主との対話の推進等の検討を進めています。(P.63「取締役会の実効性評価」参照)



G ガバナンス